

共生への 学びを拓く

SDGsとグローバルな学び

New Horizon
for Living Together:
SDGs and Glocal
Learning

佐藤一子 / 大安喜一 / 丸山英樹 編著

SDGs第4目標だけでなく、教育はSDGsすべてに関わる。持続可能な社会を実現する主体形成と学習のあり方が問われる中、様々な格差を是正し「誰一人取り残さない」社会にむけてグローバルな視野で「共生への学び」を拓くことが本書の課題である。

多様な教育・学習機会の拡充とともに市民団体などが連携し、生きづらさをかかえる人とともにどう生きるか、社会から取り残されている人への支援をどう構築するか、私たち自身がどう選択すべきか、実践レベルから課題と展望を探る。

人権、平和、民主主義、気候危機の克服、格差と貧困の解消、多文化共生社会の実現…。地域で、地球で、人間が生き延びるための学び。競争に勝つグローバル人材の育成とは対極にある学び。それが「共生への学び」だ。
——前川 喜平氏（現代教育行政研究会代表）

2015年9月の国連サミットにて全会一致で採択された持続可能な開発目標SDGsは、教育、保健、気候変動などの17の国際目標の下に169の具体的なターゲットを掲上。これらの達成は21世紀において人類にとって一番重要な課題。
——松浦 晃一郎氏（第8代ユネスコ事務局長）

（本書帯文より）

生きづらさをこえて

サステイナブルに生きる



A5判並製・260ページ
ISBN 978-4-87168-676-1
定価 2,530円
（本体2,300円＋税10%）
2022年4月刊行

Contents

第1部

持続可能な地域づくりと
コミュニティ教育

第2部

生きづらさを抱える子ども・
若者の自立支援と社会参加

第3部

多文化共生社会への模索と
国際交流

第4部

グローバル時代の平和・人権学習、
文化多様性とシティズンシップ教育

※詳細な目次、著者情報については裏面参照

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	共生への学びを拓く—SDGsとグローバルな学び— 佐藤一子・大安喜一・丸山英樹（編著）
		部	定価2,530円(本体2,300円+税10%) ISBN 978-4-87168-676-1 C3037
		氏名/団体名	
		住所 〒	
		TEL	

共生への学びを拓く

SDGsとグローバルな学び

目次

はしがき(佐藤一子・大安喜一・丸山英樹)

序章 グローバルな視野でSDGsにむきあい、「共生への学び」を拓く(佐藤一子)

第I部 持続可能な地域づくりとコミュニティ教育

第1章 <都市の世紀>の環境学習(安藤聡彦)

第2章 ESDとCLC 一日本とアジア(大安喜一)

第II部 生きづらさを抱える子ども・若者の自立支援と社会参加

第3章 生きづらさをかかえる子ども・若者の自立支援(佐藤洋作)

第4章 EUの若者政策
一就労支援と社会的包摂をめぐる実践と課題(濱田江里子)

第5章 未来を拓くための学び
一アジアの子ども・若者たちの抱える困難と多様な学びの保障(大橋知穂)

第III部 多文化共生社会への模索と国際交流

第6章 「共生社会」創造を目指した外国人移住者との地域日本語学習活動(山田泉)

第7章 「社会統合」に向けた学びの保障とは
一多文化共生社会への壁と課題一(金 侖貞)

第IV部 グローバル時代の平和・人権学習、文化多様性とシティズンシップ教育

第8章 平和の文化の創造と核兵器廃絶への国際連帯(佐藤一子)

第9章 学習の自由・表現の自由・文化多様性を育む博物館(新藤浩伸)

第10章 グローバル時代のシティズンシップ教育(上原直人)

終章 SDGsの先を展望する共生社会へ向けた生涯学習(丸山英樹)

コラム① ユネスコのSDGsへの取り組み

諸橋淳(国連教育科学文化機関(ユネスコ)持続可能な開発のための教育専門官)

コラム② 「現地」の力を頼りに「水俣」を伝える

葛西伸夫(一般財団法人水俣病センター相思社職員)

コラム③ 震災からの想像力と創造力 石井山竜平(東北大学准教授)

コラム④ コミュニティにおけるインクルーシブな防災管理事業 フィリピン・ビサヤ州の取り組み

ラモン・G・マパ/Ramon G. Mapa(PILCD事務局長)、翻訳:大安喜一

コラム⑤ 就職活動におけるセクハラ防止を求める学生の要望

遠藤理愛(一般社団法人Voice Up Japan ICU支部)

コラム⑥ 共生をめぐる未完の「思想」一 コーヒーハウスの実践から

島本優子、井口啓太郎(ともに国立市公民館「コーヒーハウス」ボランティアスタッフ)

コラム⑦ 外国ルーツの人々と関わって見えたこと

小林晋子(特定非営利活動法人みんなのおうち代表理事)

コラム⑧ 夜間中学と自主夜間中学

添田祥史(福岡大学准教授、基礎教育保障学会事務局長)

コラム⑨ 広島一この土地で互いに生まれ、支え合って働く小さなアリたち

渡部朋子(NPO法人ANT-Hiroshima 理事長)

コラム⑩ すべての子どもたちに美術とふれあう場を

一府中市美術館の学習プログラム 武居利史(府中市美術館学芸員)

編著者紹介

佐藤一子(さとう・かつこ)

埼玉大学教育学部講師・助教授・教授、東京大学大学院教育学研究科教授、法政大学キャリアデザイン学部教授を経て、現在 東京大学名誉教授

読者へのメッセージ

SDGsは最近メディアでもよくとりあげられている用語です。けれども私たちの生活の中で、地球環境問題や異なる文化をもつ人々との共生のとりくみが、どれほど互いに繋がり合う実践として根づき、広がっているでしょうか。地域に根ざし国際連帯をめざす「共生への学び」を、足元から多様な視点で探究することが課題です。グローバルな視野でSDGsにむきあい、次世代とともに「共に生きる学び」を創造する道筋を一緒に考えていきましょう。

大安喜一(おおやす・きいち)

ユネスコ・バンコク及びダッカ事務所教育担当官、岡山大学教授を経て、現在 ユネスコ・アジア文化センター教育協力部長、東京医療保健大学特任教授、岡山大学客員研究員

読者へのメッセージ

SDGsは国連が主導し国際的に合意された目標とされています。しかし、ユネスコをはじめ国連機関の主役は加盟国です。17の目標やターゲットを絶対視せず、自分たちの住む地域の特性から、持続可能な社会のあり方を、国内外とのつながりを意識して考えたいかがでしょう。本書の事例や議論が、皆さんの取り組みへのヒントとなれば幸いです。

丸山英樹(まるやま・ひでき)

文部科学省国立教育政策研究所国際研究・協力部総括研究官を経て、現在 上智大学総合グローバル学部教授

読者へのメッセージ

生涯学習とは、学校教育を繰り返すことではなく、自分にとって意味のある学習をいつでも・どこでも・誰でもできることを指します。持続可能な社会の構築は政府や誰か偉い人がなすものではなく、私たちの日々の生活と学びが織りなすものです。過去の成功体験や「これまで通り」に囚われず「今の私たちと未来の人たちにとって持続可能させるに値するものか」を常に問い続けたいものです。

著者紹介

安藤聡彦(あんどう・としひこ)

埼玉大学教育学部教授

佐藤洋作(さとう・ようさく)

NPO法人文化学習協同ネットワーク代表理事

濱田江里子(はまた・えりこ)

立教大学コミュニティ福祉学部准教授

大橋知穂(おおはし・ちほ)

国際協力機構(JICA)パキスタンオルタナティブ教育推進プロジェクトII チーフアドバイザー

山田泉(やまだ・いずみ)

文化庁「地域日本語教育スタートアッププログラム」シニアアドバイザー

金 侖貞(きむ・ゆんじょん)

東京都立大学人文社会学部准教授

新藤浩伸(しんどう・ひろのぶ)

東京大学大学院教育学研究科准教授

上原直人(うえはら・なおと)

名古屋工業大学大学院工学研究科教授